

10月7日（火）に開催された実践研究部会での活動を紹介します。

今回の参加者のみなさん

瀧田 健司先生（神沢中）、川野 祐二先生（本城中）、表 普一先生（東陵中）
佐々 孝先生（御田中）、安武 宏先生（高針台中）、阿比留慶治先生（山王中）
沖 知憲先生（日比野中）、丹羽 良平先生（当知中）、濱地 光大先生（富士中）
佐野 嘉昭先生（汐路中）、小林 正嵩先生（城山中）、佐藤 智久先生（日比野中）
鈴木 義明先生（教職員研修・採用課）

秋の授業公開について

日比野中学校の佐藤智久先生は、理科の授業の中で、生徒が自ら問いを立て、探究できるようにしたいと考えています。そのために、「探究のための???カード」「問いづくりシート」「探究シート」「単元学習カード」を利用することで、生徒が問いを立ててから解決して学習を振り返るまでを支援し、ねらいを達成しようとしています。

○ 「探究のための???カード」

単元の学習を進めていく中で、生徒が疑問に思ったことや興味を持ったことを記録するための学習プリント。

○ 「問いづくりシート」

「探究のための???カード」に記述した疑問などを基に、フローチャートに従って問いを具体化するための学習プリント。

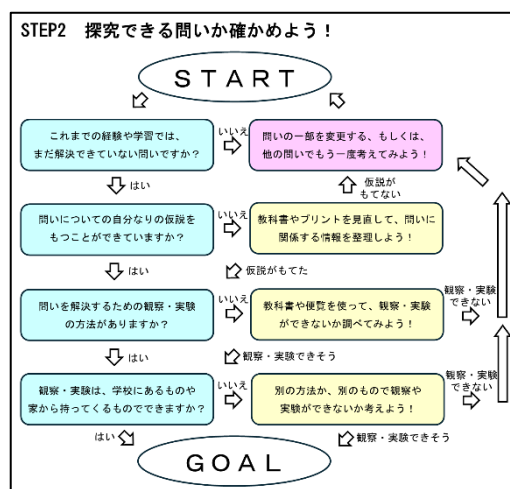
○ 「探究シート」

「問いづくりシート」で具体化した問いについて、「仮説」「観察・実験方法」「結果」「考察」「結論」という段階をへて解決するための学習プリント。

○ 「単元学習カード」

「探究シート」の段階について、それぞれ何を達成すれば良いのかを明確にするためのルーブリックや、単元全体についての振り返りを行うための学習プリント。

上記の提案に対し、「ルーブリックの段階や内容について、検討が必要である。」「問いと仮説の違いを明確にしたい。」などの意見が出ました。生徒が「自分でも探究できるんだ。」と思えるような実践になるようさらに改善していきます。



【問いづくりシート（一部）】

問い	仮説	観察・実験方法
問いづくりカードでつくった問いの付属を、ランクに応じた場所に貼ろう！	問いがどのような結論になりそうかを、これまでの経験や学習をもとに考えよう！	
Aランク 科学的に探究できる問い		
Bランク 観察・実験で調べることができる問い		
Cランク 観察・実験で調べることができない問い		
結論 問いに対する最終的な答えを書こう！	考察 結果から何が分かったのか、仮説に基づいて、根拠を明らかにしてまとめよう！	観察・実験結果

【探究シート（一部）】

名理会 秋の授業公開

令和7年10月21日(火)13:00 場所：日比野中学校本校舎 授業者：佐藤智久先生
実践単元：中2「生命 生物の体のつくりとはたらき」 みんなで探Qクラブ